

第130回日本森林学会大会 公開シンポジウム

雪国の森と木を活かす

平成31年3月21日（春分の日） 13時30分～16時

朱鷺メッセ 『スノーホール』（新潟市中央区万代島6番1号）

無料

どなたでも参加できます。

豪雪地には、かつて薪や炭の生産に利用されていたブナやナラ類など多様な樹種からなる広葉樹林が成長してきています。やはり大きく育ってきた人工林のスギとともに、広葉樹を積極的に活用することが、山間地の経済に貢献し、衰退が危惧される集落を支援することにも繋がります。雪国の森に育ってきた多様な木を活かす試みとその必要性について考えます。

進行 塚原 雅美

（新潟県森林研究所・専門研究員）

13:30～13:35 **開会の挨拶** 黒田 慶子

（日本森林学会会長・神戸大学教授）



13:35～13:40 **趣旨説明** コーディネーター 箕口 秀夫

（新潟大学農学部教授・副学長）



13:40～14:20 **基調講演「多雪地の森林の成り立ち・管理とその恵み」**

中静 透（文科省総合地球研・特任教授）「多雪山間地域のブナ林やスギ林などの森林生態系としての特徴とともに、私たちの暮らしに関わる生物多様性の恵みについて」



14:25～14:45 **講演1「旧薪炭ブナ林の林業的利用とネットワークの取組み」**

紙谷 智彦（新潟大学・名誉教授）「新潟県の豪雪山間地における旧薪炭ブナ林を対象に、ブナ林業の確立と国産ブナ材の普及に向けた上中下流が連携した課題への取組みについて」



14:50～15:10 **講演2「飛騨市における広葉樹のまちづくり」**

中村 幹広（飛騨市役所林業振興課・課長）「広葉樹のまちづくりを進める飛騨市が官民一体となって低コストで多様な広葉樹を育て、その過程で伐り出される小径木広葉樹の「新しい価値」を創造する取組みについて」



15:15～15:35 **講演3「多雪地のスギを大規模木造建築や住宅内装に活かす」**

志田 喜弘（株式会社志田材木店・代表取締役）「多雪地のスギの新たな木材の活用法として期待されている大規模公共木造建築への利用拡大、さらに住宅内装材への新たな活用などについて」



15:40～15:45 **ブース紹介**

裏面をご覧ください

15:45～15:55 **コメントと閉会の挨拶「雪国の森をどう活かすか」**

田中 浩（森林総合研究所理事・日本森林学会副会長）



主催 一般社団法人 日本森林学会 ・ 公益社団法人 国土緑化機構「緑と水の森林ファンド助成事業」
後援 新潟大学・新潟県 ・ にいがた緑の百年物語緑化推進委員会・新潟県森林組合連合会・新潟県木材組合連合会

問い合わせ 第130回日本森林学会大会運営委員会 jfs130@agr.niigata-u.ac.jp

第130回日本森林学会大会 公開シンポジウム
雪国の森と木を活かす

展示と販売

朱鷺メッセ『スノーホール』前

平成31年 **3.21** (春分の日)
①10時～13時 ②16時～18時

同時開催
シンポジウム
13時30分～
裏面を
ご覧ください



- 雪国の林業と木材の活用
 - 木を植え森を育てる市民活動
 - 県産材を効果的に使った住宅と公共建築
 - ブナのアクセサリーや髪留め製作の体験
 - 親子で取り組む木工体験
 - 木製品の展示・販売等
- (出展者が写真とは異なる場合、また、写真の木製品が当日異なる可能性があります)



朝倉家具
JAPAN INTERIOR STYLE sin



当日 (①・②) 先着 20組の
親子・グループに無料木工体験



- 〒951-8501 新潟県長岡市
- Jeco 日本自然環境専門学校
自然環境保全科
Ecology and Conservation.
環境ビジネス科
Environment Engineering.
環境園芸緑地科
Green Eco Engineering.
環境教育科
Ecological Education.
自然環境研究科
Higher education of Ecology.



問合せ先 新潟県農林水産部林政課経営指導係 (TEL 025-280-5326)